

事務事業名	有害鳥獣被害防止対策支援事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6242
	□ 実施計画事業		所属課室	農林振興課	課長名	野田栄志
			所属担当	農業振興担当	担当者名	折居慎也
基本政策	基本計画体系	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 名称 款 項 目 細目 細々目	01 一般 0 6 0 1 0 3 0 3 0 0 6	
政策	07 農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金			
施策	12 生産を支える基盤の整備充実					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度) 年度)		法令根拠	市農業振興事業補助金交付要綱		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・有害鳥獣被害対策として、啓発用パンフレットの作成、機材機具の修繕、捕獲用の檻の購入及び、捕獲した有害鳥獣に対する助成を行い、農作物の被害を抑制する。24年度から進入防止柵の自力施工を行なう場合に資材費負担金相当分の定額1/2補助率となった。		事業費の主な内訳 (22年度) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 市単独補助金 275 計 711			

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	22年度活動実績: 捕獲頭数に応じた補助金の支給 捕獲用の檻を猟友会に貸出し 23年度活動予定: 捕獲頭数に応じた補助金の支給 捕獲用の檻を猟友会に貸出し
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	有害鳥獣に悩まされている農業従事者
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしているのか、どのように変えるのか)	農作物への被害が減少する。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	農産物の安定した生産に繋がる 《生産を支える基盤の整備充実》

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	ア 捕獲に対する助成額	円/頭
⇒	⇒	イ	
⇒	⇒	ウ	
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	ア	人
⇒	⇒	イ	
⇒	⇒	ウ	
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	ア 捕獲頭数	頭
⇒	⇒	イ	
⇒	⇒	ウ	
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称	単位
⇒	⇒	ア 生産農業所得額(山梨県農林水産統計年報)	億円
⇒	⇒	イ	
⇒	⇒	ウ	

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(次年度計画・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円				312	312	312	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	711	313	741	1,404	1,404	1,404	
		事業費計(A)	千円	711	313	741	1,716	1,716	1,716	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30	30	
		人件費計(B)	千円	134	134	119	119	119	119	0
		(A)+(B)	千円	845	447	860	1,835	1,835	1,835	0
	活動指標	ア イ ウ	円/頭	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	5,000.0	
	対象指標	ア イ ウ	人	5,359.0	4,296.0	4,296.0	4,296.0	4,296.0	4,296.0	
	成果指標	ア イ ウ	頭	1,132.0	1,090.0	1,300.0	1,400.0	1,500.0	1,500.0	
	上位成果指標	ア イ	億円	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	52.0	

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	鳥獣被害が拡大し、農家からの支援要請が行われるようになったときから(時期は不明)
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	有害鳥獣被害は近年の農業にとって重要な問題のひとつであり、被害も甚大であるため、深刻な状況である。今後も、決定的な解決策はなく、手立てを講じていかないと被害は増加していく。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	鳥獣害に対する山間部の農家の要望は多く、被害の減少が望まれている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	有害鳥獣の対策として、電気柵等に対する設置費補助等の支援事業を拡大してきた。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	有害鳥獣被害防止対策支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 拡大傾向にある有害鳥獣による被害を最小限度に食い止めることにより農業経営基盤の強化に結びつく
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 鳥獣被害は本市の基幹産業である農業にとって、深刻な問題であり、被害を防止するためには、税金投入が必要である
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 有害鳥獣の被害については、サルやカラスなど全域にわたってみられる。原状の施策だけでは、さらに被害面積が増加するおそれがある。このため、維持継続よりもより一層の対策を講じていく必要があり、事業の必要性を見直す必要はない。
有効性 評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 鳥獣の生態調査などを行い、どのような駆除方法が最も効率的であるか試行錯誤しながら、猟友会との連携を強化することで成果は向上する。しかし、猟友会メンバーも高齢化し減少傾向であるため、地域での対応方策も考えていかなければならない。
	⑤類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 他の駆除方策を持たないまま中止した場合被害が増大する <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 農作物の被害が増大し、農業離れが進み、耕作放棄地が増加する
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 農家等からの被害に対する対応策の依頼が増加してきている現状では、対策費を増やすことはあっても削減はできない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 活動は猟友会等であり、職員は連絡調整が主な業務となるため、削減余地はない。
公平性 評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 被害が、中山間地だけでなく市街地まで及んでおり、市内全域が受益であるため、一部の受益者に偏っているということはない。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有害鳥獣の被害などへの苦情や相談は年々増えている。特に果樹や野菜の収穫に併せて猿、猪、シカにたいする被害防止の要望が多く寄せられる。決定的な解決方法は現在のところ見当たらないので、少しでも被害を抑えられるような新たな対策方法などを関係機関とともに調査研究していく必要がある
② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について ①猿、鹿、猪、鳥などの生態系調査 ②猟友会やJAとの連携強化 ③有効な対策方法について先進事例などの調査を行う	(5) 事務事業優先度評価結果																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ①駆除を行うものにインセンティブを与えるような奨励制度も有効であるが、経費が増える。 ②調査研究活動を行ってもこれまで決定的な方法が見つかっていない ③猟友会の会員の高齢化対策が必要	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑧	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑧																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					